

白樺ゆれる 琥珀の大地 海女の国

本市の観光キャッチフレーズを決定しました。全国から寄せられた応募点数は761点。審査は、市内の観光にたずさわる方などで行われました。井地麻琴さん（東京都分寺市）が応募した「白樺ゆれる 琥珀の大地 海女の国」が最優秀賞として選ばれ、観光キャッチフレーズに決定しました。

井地さんは「2つの街が合わさって1つのまとまった国になるような大きなイメージで」と作品に思いをこめました。審査では、「言葉のリズムの良さ」「山・里・海の観光資源がわかりやすく、すべて含まれている」などの理由から、高評価を受けました。このキャッチフレーズは、今後、観光PRやパンフレットなどに活用されます。

最優秀賞以外の入賞作品は次のとおりです。（敬称略）

〔優秀賞〕▽「輝きの海色・白樺・ゆめ琥珀」高橋善雄（盛岡市）▽「琥珀色山・海・里 ベっぴんのまち久慈」上沢順子（久慈市）〔入選〕▽「青い海・緑の森の白樺と琥珀色のまち」上山拓也（久慈市）▽「聞こえます 山・里・海の三重奏」池永一広（大坂府）▽「掘りあてよう！久慈で琥珀と 旅ロマン」岡本邦夫（石川県）▽「真心と瞳が琥珀に 染まる久慈」後藤順（岐阜県）▽「わたし色の景色がきつとある、久慈の山・里・海」勝又秀夫（神奈川県）

編集後記

4月1日付けの人事異動で広報担当を離れることになりました。旧久慈市から通算4年の広報生活は、長いようでも、毎月2度の締め切りに追われ、あつという間でした。▽初めて作った平成16年5月1日号。表紙はもぐらんびあでした。そして、最後の広報で表紙に選んだ写真は、偶然にも、もぐらんびあ。なにやら運命を感じます。▽今までも取材などで出会った皆さんに感謝。新しい職場でも広報で得た経験を生かし、がんばります。新しい担当ともども、これからも広報くじをよろしくお願いします。（中村）



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、応募ください。写真は、お返しします。詳しくは、広報くじ担当（☎52-2116）。

みかえら
坂本美香笑ちゃん（1歳2カ月）
（宇部町）坂本三蔵・ハツヨさんの孫



れみ
槻木沢玲心ちゃん（10カ月）
（小久慈町）葺山一成・れい子さんの孫